

# 県の取り組み

## SDGs 推進に向けた取り組み ～ SDGs × 群馬県 = 県民の幸福度向上 ～

本県が目標に掲げる「**県民の幸福度向上**」は、SDGs の理念と一致するものです。県は人口減少・超高齢化など社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて、市町村や企業、大学、NPO、県民などと一体となってSDGs を積極的に推進していきます。

### SDGs の理念を反映させた次期総合計画の策定

来年度の県次期総合計画の策定にあたって、SDGs の理念を反映させるとともに、SDGs の17の目標に各部署の主な事業を位置付けます。

### 「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」への選定

SDGs 先進県に向け、来年度の選定を目指して準備を進めています。

### SDGs 推進セミナーの開催

市町村や中小企業を対象としたセミナーを開催し、県全体でSDGs の推進に取り組めます。

### 「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」とは？

「SDGs 未来都市」 SDGs の達成に向けた優れた取り組みを国に提案し、選ばれた都市です。2018年度から公募が始まり、例年30程度、現在60の道県・市町村が選ばれています

「自治体 SDGs モデル事業」 SDGs 未来都市の中でも先導的な役割を果たしている自治体の事業から、例年10程度が選定されます

## 持続可能な群馬県を構築するために ～「ぐんま5つのゼロ宣言」～

近年の気候変動の影響によると考えられる気象災害の頻発・激甚化を受け、県はさらなる防災減災・環境対策に取り組むため、2050年に向けた「**ぐんま5つのゼロ宣言**」を発表しました。二酸化炭素などの温室効果ガス排出量実質ゼロを宣言したのは全国で58自治体ありますが、5分野にわたる複合的な宣言は全国初です。

災害に強く、持続可能な社会を構築するとともに、県民の幸福度を向上させるため、各分野において宣言に基づいた実効性のある施策を展開していきます。

### 宣言1 自然災害による死者「ゼロ」

県土の強靱化とともに、県民の防災意識を高め、自然災害による死者をゼロにする

### 宣言2 温室効果ガス排出量「ゼロ」

日照時間の長さや豊富な水資源・森林資源など本県の恵まれた再生可能エネルギー資源を最大限に活用して、温室効果ガスの排出実質ゼロにする

### 宣言3 災害時の停電「ゼロ」

エネルギーの自立・分散化（地産地消）により、災害時にも電力供給を継続する。さらに、地域外への富（電気代）の流出をなくし、地域内で資金循環させる

### 宣言4 プラスチックごみ「ゼロ」

環境中に排出されるプラスチックごみをなくす

### 宣言5 食品ロス「ゼロ」

「MOTTAINAI」（もったいない）の心で食品ロスをなくす

SDGs の達成にもつながるね！



### 小泉環境大臣に報告

昨年12月25日、山本知事が小泉環境大臣に「ぐんま5つのゼロ宣言」を表明しました。小泉大臣からも期待の声をいただきました。



「ぐんま5つのゼロ」を宣言した群馬県を指す山本一太知事（左）と小泉進次郎環境大臣

### 買い物でできるSDGsの取り組み例（2ページから）

- 徒歩や自転車、公共交通機関で店に行く  
→ 温室効果ガスの削減につながる。健康維持にも有効
- 食材は食べきれ的分だけ買う  
→ 食べ残しを減らして、ごみの処分費用やエネルギーを節約
- マイバッグを活用する  
→ レジ袋の原料（原油）の節約、処分時の温室効果ガスの削減
- 見切り品などにも注目  
→ 食品ロスの削減につながり、ごみの処分費用やエネルギーを節約
- 地元の店で、地元の食材を買う  
→ 地元の経済活性化。また輸送距離が短い地産地消は温室効果ガスを削減



問い合わせ先 県庁企画課 ☎027-226-2313

SDGsについて詳しくは、国際連合広報センターホームページ (<https://www.unic.or.jp/>) をご覧ください

